

海浜幕張駅帰宅困難者対策実動訓練 活 動 要 領

(目次)

- ・ 1 - 1 駅員、千葉県警等利用者保護訓練活動要領
- ・ 1 - 2 駅員、千葉県警等情報伝達訓練活動要領
- ・ 1 - 3 駅員、千葉県警等誘導訓練活動要領
- ・ 2 帰宅困難者活動要領
- ・ 3 身体障害者活動要領
- ・ 4 外国人帰宅困難者活動要領
- ・ 5 千葉市幕張観光情報センター活動要領
- ・ 6 一時滞在施設活動要領

1 - 1 駅員、千葉県警等利用者保護訓練活動要領

◆訓練内容

➤ 駅員、千葉県警等利用者保護訓練

◆活動要領

時間	活動内容
訓練前日	① 訓練の備品等を千葉市が持ち込む。 (備品はビブス等。当日着用する。)
訓練当日 9:30	(駅員、千葉県警) ① 駅員は、通信訓練開始。区役所と情報のやりとりを行う。 ② あらかじめ決めておいた帰宅困難者の一時退避場所の配置 (JR: 訓練会場) につき、帰宅困難者が集まるのを待つ。
9:45	(市職員、駅員、千葉県警) ③ 市職員や帰宅困難者等が移動後、駅利用者の邪魔にならないよう、訓練場所の確保を行う。(カラーコーンやブルーシート等の設置など)
9:50	【利用者保護訓練】 (JR 駅員) ① 市職員より開始の合図を受けた駅員は、駅務室及び他の職員に訓練開始の合図を送り、駅員は放送の合図で、帰宅困難者を訓練場所に誘導し、整列させる。 ② 訓練開始に合わせ、海浜幕張駅改札付近で帰宅困難者対策訓練を実施している旨の放送をする。 ※ 放送内容については、JR で決定。 (例) 「これは訓練です。」 「JR の首都圏全線は、大規模地震の影響により、運行を停止しています。」 「帰宅困難者 (訓練参加者) はこちらにお集まり下さい」 ③ 放送内容は、通訳アプリ等を使い、多言語で案内する。 ④ 誘導後に、「負傷者はいませんか」と問いかけ、申し出た負傷者を応急処置ができる安全なスペースに移動させ、「応急処置をしますので、暫くお待ち下さい」と暫く待機するよう伝える。 ⑤ 身体障害者を見つけ、「この後、移動予定ですので、車いすをご用意いたしましょうか」と促し、身体障害者の歩行を手助けし、安全なスペースに移動させ、「改めてご案内しますので、暫くお待ち下さい」と伝え、暫く待機するよう伝える。また、聴覚障害者の方には、筆談で対応する旨のアピールをする。 ⑥ 駅員は、応急処置に必要なもの (救急箱や段ボールで作製した副木等) と車いすを駅務室まで取りに行く。 ⑦ 駅員は、応急処置をする際、帰宅困難者に「手を負傷した方がいらっしゃいますので、すみません、どなたか応急処置を手伝ってもらえませんか」と呼びかけ、帰宅困難者 (千葉中央看護学生) とともに、負傷者の手当てをする。 (鉄道警察隊、千葉西警察署) ① 警察官は、駅員の誘導 (整列) をサポートし、帰宅困難者を警備する。 ② 訓練会場にて適宜配置につく。 (市職員 負傷者役・帰宅困難者) ① 駅員より「負傷者はいませんか」と聞かれたら、「すみません、ちょっと手を怪我して」と駅員に伝える。

1-2 駅員、千葉県警等情報伝達訓練活動要領

◆訓練内容

➤ 駅員、千葉県警等による情報提供訓練

◆活動要領

時 間	活 動 内 容
10:10	<p>【情報伝達訓練】 (JR 駅員)</p> <p>① 状況票（掲示物 B1サイズ3枚）用意し、柱、ポスター掲示板等に、後ろからも見えるよう出来るだけ高い位置に張り付ける。</p> <p>② 交通情報や一時滞在施設の開設状況等を周知する。 (例) 「これは訓練です。」 「JRの首都圏全線は、大規模地震の影響により、本日の運行を中止します。」 「これから、一時滞在施設である幕張メッセまで誘導します」</p> <p>③ 聴覚障害者への情報伝達担当は、聴覚障害者に対応できる旨の案内を持って移動する。聴覚障害者から申し出があるので、筆談で情報伝達を行う。</p> <p>④ 情報提供は、通訳アプリ等を使いながら、多言語及びやさしい日本語で案内する。</p> <p>⑤ 外国人からの質問について対応を行う。</p> <p>(鉄道警察隊)</p> <p>① 引き続き、帰宅困難者の警備を行う。</p> <p>(千葉西警察署)</p> <p>① 市職員の合図により、一時滞在施設までの誘導訓練に備え、あらかじめ決めておいた配置に移動を始める。 3名は、交差点につき、帰宅困難者の誘導訓練を行う。 2名は幕張メッセに向かい、幕張メッセの状況把握を行う。 2名は海浜幕張駅周辺の状況把握を行う。</p>

2 帰宅困難者活動要領

◆訓練内容

➤ 帰宅困難者に対する利用者保護訓練、情報提供訓練、誘導訓練、受入れ訓練

◆活動要領

時間	活動内容
9:15	<p>① 参加者は訓練参加者集合場所（北口：第1駐輪場前）へ集合する。</p> <p>② 参加者は、ビブス（帰宅困難者役：青、一時滞在施設受入役：黒）を受取り、着用する。</p> <p>③ 点呼のため、代表者の方は参加者が全員揃ったら、司会付近市職員に報告する。</p> <p>（千葉中央看護専門学校）</p> <p>① ビブスを受取る際、帰宅困難者役約50名と一時滞在施設受入役30名を決めておく。</p>
9:30	<p>① 集合場所にて、訓練についての注意事項等を確認する。</p> <p>② 市職員の誘導により、各自の訓練会場へ移動を開始する。</p>
9:50	<p>【利用者保護訓練】</p> <p>① 集合場所から訓練会場に着いたら、訓練会場付近で待機する。 （改札外において、なるべくバラバラになっておく。）</p> <p>② 駅員の誘導に従って、行動する。（整列する。）</p> <p>（千葉中央看護専門学校）</p> <p>① あらかじめ決められていた看護学生（2～3人）は、駅員からの負傷者対応の協力依頼を受け、挙手する。</p> <p>② 負傷者の応急手当を手伝う。（手の負傷。救急箱や副木は駅で用意。）</p>
10:10	<p>【情報伝達訓練】</p> <p>駅員より、交通情報や一時滞在施設の開設状況等について、説明及び掲示があるので確認する。</p>
10:25	<p>【一時滞在施設（幕張メッセ）への誘導訓練】</p> <p>駅員の誘導のもと、一時滞在施設まで移動する。</p> <p>（千葉中央看護専門学校）</p> <p>① あらかじめ決められていた看護学生（3人以上×2組）は、駅員からの車いす利用者介助の協力依頼を受け、挙手する。車いす利用者の介助を行う。</p> <p>② あらかじめ決められていた看護学生（3人以上×1組）は、駅員からの視覚障害者介助の協力依頼を受け、挙手する。視覚障害者の介助を行う。</p> <p>③ あらかじめ決められていた看護学生6人は、帰宅困難者役のリーダーとして挙手し、1名につき15～20人程度を束ね、安全に幕張メッセまで誘導する。</p> <p>（市職員）</p> <p>① あらかじめ決められていた市の職員（1人）は駅員からの視覚障害者の介助の協力依頼を受け、挙手する。</p>

10:35	<p>【一時滞在施設 受入訓練】</p> <p>① 幕張メッセ職員や一時滞在施設受入役の看護学生の誘導のもと、一時滞在場所にて受付票を記入する。</p> <p>② 一時滞在場所で待機する。</p> <p>意見交換会に参加されない方は訓練終了。現地解散。</p>
11:20	<p>【意見交換会】</p> <p>千葉中央看護学校参加者より、2～3分程度訓練全体を通しての意見・感想をもらう。</p>
11:50	<p>意見交換会終了</p>

1 - 3 駅員、千葉県警等誘導訓練活動要領

◆訓練内容

➤ 駅員、千葉県警等誘導訓練活動要領

◆活動要領

時間	活動内容
10:25	<p>【一時滞在施設（幕張メッセ）への誘導訓練】 （JR3人）</p> <p>① JR 駅員は、改札を出て、駅南側の階段を降りた右側の広く安全な場所まで帰宅困難者を誘導する。</p> <p>② JR 駅員は、帰宅困難者の誘導を帰宅困難者役に協力依頼する。 「車いす利用者の介助をご協力願えませんか」（看護学生3人以上×2組） 「視覚障害者の方の介助をご協力願えませんか」 （帰宅困難者役 市職員1人・看護学生3人以上×1組） 「幕張メッセの行き方をご存じの方、案内をお願いできませんか」 看護学生6人は、誘導役として名乗りです。</p> <p>③ JR 駅員は、看護学生6人に「案内図」を手渡す。</p> <p>④ 帰宅困難者役で案内役を申し出た看護学生は、市の職員と2人で1組となり、15人～20人前後を（駅に残るJR 駅員が数える、1分くらいの間隔をあける）、一時滞在施設まで誘導する（計6組に分割）。なお、看護学生が先頭で、市職員は最後尾につく。</p> <p>（千葉西警察署）</p> <p>① 帰宅困難者の警備を行う。</p> <p>② 各配置についた警察署員は、最後の帰宅困難者を見送った時点で、訓練終了。</p> <p>③ 意見交換会出席者は、一時滞在施設の控室で待機する。</p> <p>（鉄道警察隊）</p> <p>① JR 訓練会場の警備を引き続き行う。</p> <p>② JR 訓練会場から最後の帰宅困難者を見送った時点で、訓練終了。</p>
10:35	<p>意見交換会に出席しない方は訓練終了。現地解散。 意見交換会に出席いただく方は、幕張メッセへ移動。</p>
11:20	<p>【意見交換会】</p> <p>① JR及び千葉西警察署の方より、2～3分程度訓練全体を通しての意見・感想を発言する。</p>
11:50	<p>意見交換会終了。</p>

3 身体障害者活動要領

◆訓練内容

➤ 身体障害者に対する利用者保護訓練、情報提供訓練、誘導訓練、受入れ訓練

◆活動要領

時間	活動内容
9:15	<ul style="list-style-type: none"> ① 参加者は訓練参加者集合場所（北口：第1駐輪場前）へ集合する。 ② 参加者は、市職員よりピブス（青：各障害者）を受取り、着用する。
9:30	<ul style="list-style-type: none"> ① 訓練についての注意事項等を確認する。 ② 駅改札内に移動し、訓練が始まるまでを待つ。
9:50	<p>【利用者保護訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 駅員の誘導に従って行動する（整列する）。 ② 肢体不自由者は、駅員から車いすの利用を促す案内があるので、車いすを利用する。 ③ 聴覚障害者は、筆談で駅員とやりとりする。
10:10	<p>【情報伝達訓練】 （聴覚障害者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 駅員が状況票を掲示したら、確認を行う。 ② 駅員に耳が聞こえない旨を申し出て、筆談するように依頼する。 <p>（肢体不自由者及び視覚障害者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 駅員の案内のもと、交通情報や一時滞在施設の開設状況等の情報を受取る。
10:25	<p>【一時滞在施設（幕張メッセ）への誘導訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 駅員指示に従い、他の帰宅困難者とともに一時滞在施設まで移動する。 ② 肢体不自由者と視覚障害者は、介助役の帰宅困難者とともに一時滞在施設まで移動する。
10:35	<p>【一時滞在施設 受入訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 幕張メッセ職員及び看護学生の誘導のもと、EV を利用し、2F の一時滞在場所まで移動する。 ② 一時滞在場所にて受付票を記入し、一時滞在場所で待機する。 ③ 視覚障害者の受付票の記載については、幕張メッセの職員の補助により行う。 <p>意見交換会に参加しない方は訓練終了。現地解散。</p>
11:20	<p>【意見交換会】</p> <p>あらかじめ、発表する方を一人決めておき、2～3分程度訓練についての意見を発言する。</p>
11:50	意見交換会終了。

4 外国人帰宅困難者活動要領

◆訓練内容

➤ 外国人帰宅困難者に対する利用者保護訓練、情報提供訓練、誘導訓練、受入れ訓練

◆活動要領

時間	活動内容
9:15	① 参加者は訓練参加者集合場所（北口：第一駐輪場前）へ集合する。 ② 参加者は、ピブス（青：外国人）を受取り、着用する。
9:30	① 訓練についての注意事項等を確認する。（日本語のみ） ② 駅改札内に移動し、訓練が始まるまでを待つ。
9:50	【利用者保護訓練】 ① 二組に分かれる。 ② 一組は JR 訓練会場に残り、駅員の誘導に従って行動する（多言語での案内がある）。 ③ もう一組は、駅員に案内をされ、幕張観光情報センターに向かう。幕張観光情報センターに着いたら、情報提供を受ける。
10:10	【情報伝達訓練】 （JR訓練会場） ① 駅員が、通訳アプリ等を使いながら、交通情報や一時滞在施設の開設状況等を説明するので、案内に対して問い合わせる。 （千葉市幕張観光情報センター） ① 交通情報や一時滞在施設の開設状況等について説明を受ける。 ② 情報伝達が終了したら、幕張観光情報センターの職員と一緒に、10:20までに JR 訓練会場に戻る。 ③ 他の帰宅困難者と合流し、駅員の誘導に従う。
10:25	【一時滞在施設（幕張メッセ）への誘導訓練】 ① 駅員の誘導のもと、他の帰宅困難者とともに一時滞在施設まで移動する。
10:35	一時滞在施設 受入訓練 ① 幕張メッセ職員及び看護学生の誘導のもと、一時滞在場所にて受付票を記入、一時滞在場所で待機する。
11:20	訓練終了、現地解散。

5 千葉市幕張観光情報センター活動要領

◆訓練内容

➤ 千葉市幕張観光情報センターによる情報提供訓練、誘導訓練、受入れ訓練

◆活動要領

時間	活動内容
9:30	通信訓練を開始する。
9:50	【利用者保護訓練】 ① 幕張観光情報センターに来た外国人からの問い合わせに応じる。
10:10	【情報伝達訓練】 ① 交通情報や一時滞在施設の開設状況等を説明する。 ② 情報伝達が終了したら、外国人と一緒に、10:20までにJR訓練会場に戻る。 ③ 他の帰宅困難者と合流し、駅員の誘導に従う。
(10:25)	一時滞在施設（幕張メッセ）への誘導訓練 外国人に同行する。
(10:35)	一時滞在施設 受入訓練。 一時滞在施設に到着した職員は、控室で待機する。 訓練終了。
11:20	【意見交換会】 あらかじめ発表する方を決めておき、2～3分程度訓練全体を通しての意見・感想を発言する。
11:50	意見交換会終了。

6 一時滞在施設活動要領

◆訓練内容

➤ 一時滞在施設の受入れ訓練

◆活動要領

時間	活動内容
訓練前日	① 訓練参加者への配布物等を千葉市が持ち込む。 (13:00以降 搬入。) (ピブスを配布する。当日着用。)
訓練当日	
9:30	① 通信訓練開始(対応状況票を区から送付)。区役所と情報のやりとりを行う。
9:50	② 施設の安全確認をチェックリストをもとに行う。(看護学生とともに) ③ 施設の安全が確保された旨、対応状況票に記入返信する。 ④ 受付票、配布物を用意する。 ⑤ 机を用意する。机の上に、鉛筆等を置く。 ⑥ 一時滞在場所予備室及び身体障害者一時滞在場所にも同様に準備する。 ⑦ 意見交換会のためのネームプレートを伏せて置いておく。
10:07	① 美浜区役所より、一時滞在施設開設の依頼が電話である。
10:10	② 職員は、所定の配置につく。(幕張メッセは、看護学生に配置割りを行う)
10:35	【一時滞在施設受入訓練】 ① 職員は、帰宅困難者をエレベーター(要援護者優先)及び階段を用い、円滑に施設内を誘導する。 ② 1階に配置している幕張メッセ職員及び看護学生は、視覚障害者を見つけたら、帰宅困難者(市職員)とともに、2階の障害者用一時滞在場所まで誘導し、席まで案内する。 ③ 一時滞在場所の入口で受付票の紙を配布し、あらかじめ用意しておいた記載台で名前のみを書いてもらう。 ④ 帰宅困難者が受付票を記入したかを確認し、入口で受付票を回収するとともに、配布物を配る。 ⑤ 幕張メッセ職員及び看護学生は、視覚障害者及び外国人の受付票記載を補助する。 受入訓練終了。意見交換会に参加されない方は訓練終了。
11:20	【意見交換会】 幕張メッセの方より、2～3分程度訓練全体を通しての意見・感想を発言する。
11:50	意見交換会終了。